第1回義務教育施設適正配置審議会

第1回義務教育施設適正配置審議会を開催しまし

市の義務教育施設の適正配置については、平成20 年7月に常陸大宮市義務教育施設適正配置実施計画 に基づき、小中学校の適正配置を推進し、平成31年 4月の明峰中学校と御前山中学校の統合をもって、 同計画による小中学校の再編は終了したところです。

しかし、近年の急速に進む少子化の状況を踏まえ、 今後の小中学校の適正配置の在り方等について、市 義務教育施設適正配置審議会の委員を新たに委嘱 し、同審議会において検討していくこととしました。

第1回の会議においては、事務局から市における これまでの義務教育施設適正配置の推進の経過や今 後の児童生徒数・学級数の推移等を説明し、これに 対して委員の方々から様々な視点からご意見等をい ただきました。

今後も本審議会において、継続して今後の常陸大 宮市義務教育施設適正配置の在り方等について検討 していきます。

※会議の概要及び資料は、市公式ホームページ内で ご覧になれます。



▲審議会の様子

令和2年度関東スポーツ推進委員協議会 功労者表彰受賞

令和2年度関東スポーツ推進委員協議会功労者表 彰において、常陸大宮市スポーツ推進委員の冨田弘 徳さんが表彰されました。冨田さんは、平成4年に 大宮町体育指導委員に就任し、約30年の長きに渡り 活動され、現在も常陸大宮市スポーツ推進委員とし て、地域のスポーツの普及・推進に多大なる貢献を されています。

また、スポーツ推進委員として10年間以上活動し、 地域のスポーツ振興のために功績があった方に贈ら れる茨城県スポーツ推進委員協議会表彰において、 鈴木弘子さん、加藤智久さん、佐藤栄治さんが表彰 されました。



▲表彰された冨田 弘徳さん

令和2年度環境保全功労者 表彰受賞

茨城県では、環境保全意識の高揚を図るため、環 境保全や環境美化に功績があった方や団体を表彰し ています。本市からは、御前山ダム環境センター(会 長 青山民雄さん(桧山))が表彰されました。

御前山ダム環境センターは、これまでにビオトー プの維持管理や御前山ダム周辺の環境整備を継続し ています。

また、御前山小学校の児童と稲作体験やダム周辺 での桜の植樹活動などを続けており、将来にわたっ て御前山ダム周辺の自然を守っていこうとする児童 の育成により、郷土でも輝くことのできる人づくり に繋がる「郷育」を目指して、環境保全活動の波及 に努めています。



▲(右から) 御前山ダム環境センター 疋田 勝美監事、 青山 民雄会長、御前山小学校 後藤 一成校長

農林水産大臣表彰市長伝達式

農林水産大臣表彰の市長伝達式が行われました。この表彰は長年農林業センサスに長年にわたり従事し、 その功績が認められた方に授与されるものです。

また、国勢調査やその他基幹系統計調査に長年にわたり従事し、その功績が認められた方々に対し、令和 2年度茨城県統計功労者表彰が授与されました。

●農林水産大臣表彰 (2020年農林業センサス) 統計指導員

野上 進さん (抽ヶ台町)

統計調査員

佐藤 一郎さん (高部) 横山 英明さん (照田) 渡邊 光一さん (照山) 操さん(氷之沢)

保さん (長沢)

●茨城県知事表彰

木村 壽雄さん (照山) 神長 忠義さん (舟生)

●茨城県統計協会総裁表彰

鈴木 洋一さん (氷之沢) 片岡 彦一さん (三美) 沢畑 益雄さん (東野) 大内 義一さん (上岩瀬)



▲(左から) 益子 保さん、渡邊 光一さん (右から) 佐藤 一郎さん、横山 英明さん 栗田 操さん

「ホストタウンサミット2021」ホストタウンからのライブ中継

内閣官房東京オリンピック・パラリンピック推進本部事 務局が主催する「ホストタウンサミット2021」が2月20日 (土)、21日(日)の2日間にわたり開催され、本市の東京 2020大会に向けたボランティア[パラオブルーサポーター] がオンラインによる中継発表を行いました。

このホストタウンサミットは、2018年(平成30年)から 毎年、武蔵野大学(東京都)で行われている、全国のホス トタウン自治体や大使館、ホストタウン相手国の関係者な どが一堂に会し、取組発表や情報交換、展示等が行われる 成果発表の場です。今年は新型コロナウイルス感染拡大防 止のため、オンラインで開催されました。

本市は、全国の500を超えるホストタウン自治体の中か ら21自治体だけが発表を行うことができる「ホストタウン からのライブ中継 | に出演しました。 "We are Palau Blue Supporters."と題し、パラオブルーサポーターがこれま で取り組んできた活動や特産品などの本市の魅力のほか、 サポーターが現在行っている「パラオとの交流のツール」 を作るワークショップで、環境に配慮した素材で作るコー スターやパラオ語を使った交流ツールについて意見交換を 行う様子を紹介しました。



▲パラオの伝統工芸品「イタボリ」について紹介する 宮本 亜希子さん(左)と片岡 優月さん(右)

今回の中継発表でリポーターを務めた宮本亜希子さんか らは「これを機に、市民の皆様にもっとパラオやサポーター を知っていただいて、パラオとの交流がますます深まると いいなと思います」、片岡優月さんからは「リポーターを 務めて、改めて常陸大宮市の魅力、特産品を知って、もっ と常陸大宮市が好きになりました との感想がありました。 また、中継終了後、丸川珠代オリンピック・パラリンピッ ク担当大臣から、本市の取組について「身近にあるもので 環境に配慮した物を作り、パラオとの今後の交流を考える ことは素晴らしい」などとコメントをいただき、全国のホ ストタウンに本市やパラオの魅力を発信する機会となりま

また、本市は、コロナ禍においても感染症対策を徹底し、 パラオブルーサポーターとの連携、協力のもと実施した「パ ラオフェア2020 など、年間を通して様々なホストタウ ン交流事業を行い、その取組について、新聞やテレビ等の 報道機関に多く取り上げられたことなどから、このホスト タウンサミット2021において、「優良情報発信賞・特別賞| を受賞しました。



▲中継発表に参加したパラオブルーサポーターの皆さん

令和3年3月号

令和3年3月号

かわプラザに花桃が飾られました!

JA常陸奥久慈枝物部会の花いけ研究会が、 道の駅常陸大宮~かわプラザ~に、地元産の花 桃などを使った生け花アートを飾りました。

花桃のほかにも、ヤマブキやツバキ、ユーカ リなどの枝物も持ち寄り、高さ約3メートルの 作品が2ヶ所作られ、訪れる方々を楽しませて くれました。



▲見事に花桃が飾られました

2/25

民間自治功労者表彰

市の発展に貢献された功績が顕著であった方を 称える民間自治功労者表彰(主催: 茨城県市長会) を佐藤隆男さん(上小瀬)が受賞されました。

佐藤さんは、地区の高齢者クラブや自主防災組 織の立ち上げに関わり、地域福祉の推進や安心・ 安全なまちづくりの発展に尽力されました。

特に平成29年4月からの4年間は、区長会の会 長を務め、地域コミュニティ活動の情報交換会の 実施や、区長会と行政を結ぶパイプ役として、イ ノシシによる農作物被害への対策強化を要望する など、地域住民の生活環境等の安定向上と区長会 の円滑な運営に大きく寄与されました。



▲(右) 佐藤 隆男氏

教育委員辞令交付

教育委員の星野幸子氏が、令和3年2月22日に、 2期8年間の任期満了を迎えられ、退任されまし た。これに伴い新たに宮本亜希子氏が教育委員に 就任されました。任期は令和3年2月23日から令 和7年2月22日までの4年間となります。



▲(中央) 宮本 亜希子氏

JA常陸枝物部会より花桃が 寄贈されました

JA常陸枝物部会より常陸大宮市の特産品であ る花桃を飾って、地域の皆さんが癒され、少しで も元気になってほしいと、花桃が寄贈されました。 市役所窓口や市内保育園、認定こども園に飾ら れました。



▲(右から) JA常陸大宮営農経済センター 飯塚 涼太様 奥久慈枝物部会 長山 豊明副部会長 舘野 久夫部会長

アートを活用した地域活件化事業 寺門由紀さんワークショップ

上野小学校6年生を対象として、市内在住の芸 術家である寺門由紀さんを講師に招き、絵画の ワークショップを開催しました。寺門さんからパ ステルを使った絵の描き方を教わった子供たち は、思い思いに制作に取り組んでいました。

卒業記念に全員で桜の絵を制作し、個人作品と ともに道の駅常陸大宮に展示しました。

展示会場では、「個性豊かでとてもきれい」「あ たたかい気持ちになった などの多くの感想が寄 せられました。



▲ワークショップの様子

「公園づくりワークショップ」 を開催しました

常陸大宮駅西口に、「女性と子供達に目を向け た交流拠点」を目的とする公園整備推進のため、 令和3年2月27日(土)に「公園づくりワーク ショップ」を開催しました。

ワークショップには24名の方が参加し、「魅力 ある公園づくり」に向けた活発な意見交換が行わ れました。

皆様からいただいた意見を踏まえ基本計画の策 定を進めていきます。



▲さまざまな意見が出されました

四周命元少儒

春光うららかに花の便りが聞かれる今日この頃、皆 様はどのようにお過ごしでしょうか。お世話になって おります。地域おこし協力隊の德永です。

常陸大宮市に引っ越して来てもうすぐ2年が経ち ます。この2年間、様々なことがありました。また、 本当にたくさんの方々に支えられながら今まで活動す ることができました。活動のための空き家を探してく ださった方々、畑を貸してくださった方々、農機具を 貸してくださった方々、耕作放棄地開墾のために重機 を動かしてくださった方、休憩場所として小屋を貸し てくださった方、車が使えない間自宅まで送り迎えを してくださった方々、元気に過ごしているか心配して 電話してくださった方々、生活に困っているんじゃな いかと心配してご飯をご馳走してくださった方々、地 域の歴史や伝統文化を熱心に語ってくださった方々、 他にも数えきれないほどの出来事。

これを書いている間も昨日のことのように思い出

します。

4月からはこの地を離れ、地元に戻ることとなりま したが、退任後も常陸大宮市を訪れたいと考えていま す。僕のことを見かけたときはお声がけくださると嬉 しいです。今まで、我が子のようにたくさんの愛情を 注ぎ、真心を尽くしてくださりありがとうございました。



▲屋外で活動中の徳永隊員